

実践③ 1年『ともだちしょうかいカードをつくろう』

- 第1次 「ともだちしょうかいカード」を見て、単元のゴールをもつ。
第2次 2年生のインタビュー動画から、話し方と聞き方のポイントを見付ける。ペアで友達にインタビューする。
第3次 「ともだちしょうかいカード」をつくり、読み合う。



主体的学習を実現する

- ・「今、一番楽しいこと」の映像や写真をタブレットで見せることで、興味をもって聞くことができるようにした。
- ・段落ごとにまとまった枠のあるワークシートを使い、自信をもって書くことができるようにした。

学びを深める「交流活動」

- ・朝の会、帰りの会の時間にスピーチ活動を行い、話すことに自信をもたせた。
- ・「いつ」「どこで」など詳しく聞くための言葉を掲示し、選んで質問できるようにした。質問カードから書く活動へつなげた。

個を生かす「学習評価」

- ・書いたものを読み合い、良いところを見付けたり感想を伝え合ったり相互評価する。
- ・学習計画に沿って自己評価し、振り返りに対して即時評価することで、次時の活動への意欲をもたせた。

成果と課題

(1)成果

- ・身近な題材設定や目的意識をもたせる仕掛けにより、児童一人一人が目的意識をもつことができた。
- ・児童が主体的に調査したり、情報収集したりすることで、児童の理解が十分にできていた。また、「伝えたい」という意欲につながっていた。
- ・対話的な学びの中で、アドバイスや良いねと認め合うことで、もっと工夫しようという意欲が高まった。
- ・学習計画や本日の流れを示すことで、授業の流れが分かりやすくなった。
- ・学習計画表に沿って、自己評価をすることで、自分の成長を実感し、次時への意欲へとつなげられた。

(2)課題

- ・交流の場面では、グループ内の交流にとどまらず、全体での交流を意図的に設定することで、自分たちの活動を客観的に捉え、より多くの気づきをもたせられるようにすることが大切である。
- ・ペアやグループでの検討場面について、考えを広げるような支援、助言をすると良かった。また、1年生ではアドバイスをし合うことは難しく、発達段階に応じた視点を示すことが必要である。
- ・書く活動においては、個別支援のための手だてを充実させることが大切である。

八幡小学校ホームページに、学習指導案を掲載しています。
右2次元コードからアクセスできます。

